

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公表番号】特表2016-528509(P2016-528509A)

【公表日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2016-535419(P2016-535419)

【国際特許分類】

G 01 M 3/02 (2006.01)

【F I】

G 01 M 3/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月25日(2017.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

円筒容器12には、ヘリウム含有率5 ppm、アルゴン含有率1%の空気20が充填されている。毛管18からの漏洩速度は、 10^{-6} mbar・l/sとなる。空気の湿度は、約40%である。

この構成により漏洩試験器10における有効ガス流量は、ヘリウムに対して 1×10^{-6} mbar・l/s・5 ppm = 5×10^{-12} mbar・l/s、アルゴンに対して 1×10^{-6} mbar・l/s・1% = 1×10^{-8} mbar・l/sとなる。

なお、本発明は、実施の態様として以下の内容を含む。

〔態様1〕

気体の充填された容器(12)と、容器壁を貫通する毛管(18)とを備え、該気体中の空気(20)の含有率が少なくとも10%である、漏洩試験器(10)。

〔態様2〕

態様1に記載の漏洩試験器(10)において、毛管(18)からの漏洩速度が最大で 10^{-6} mbar・l/sである、漏洩試験器(10)。

〔態様3〕

態様1または2に記載の漏洩試験器(10)において、前記空気(20)が50%未満、好ましくは40%未満の相対湿度を有する、漏洩試験器(10)。

〔態様4〕

態様1～3のいずれか一態様に記載の漏洩試験器(10)において、空気(20)中のヘリウム含有率が3～7 ppm、好ましくは約4.5～約5.5 ppmである、漏洩試験器(10)。

〔態様5〕

態様1～4のいずれか一態様に記載の漏洩試験器(10)において、空気(20)中のアルゴン含有率が約0.5%～約2%、好ましくは約0.8%～約1.2%である、漏洩試験器(10)。

〔態様6〕

態様1～5のいずれか一態様に記載の漏洩試験器(10)において、前記容器(12)が着脱自在の端部キャップ(16)を備えた円筒形容器(12)であり、前記毛管(18)が該キャップを貫通して案内されている、漏洩試験器(10)。

〔態様7〕

態様 6 に記載の漏洩試験器（10）において、前記円筒（12）がガラス製である漏洩試験器（10）。

[態様 8]

態様 6 または 7 に記載の漏洩試験器（10）において、前記キャップ（16）が金属製である漏洩試験器（10）。

[態様 9]

態様 6 から 8 のいずれか一態様に記載の漏洩試験器（10）において、前記容器（12）が 5 cm 以下、好ましくは約 4 cm の長さと、1 cm 以下、好ましくは約 0.8 cm の直径を有する、漏洩試験器（10）。